

## 米国 超党派議員団がアジアでのブルーベリーのアクセス改善を要請

[FreshPlaza](#) 2025年9月25日

米国ワシントン州選出のリック・ラーセン下院議員(民主党・ワシントン州第2区)及びダン・ニューハウス下院議員(共和党・同第4区)を中心とする超党派の議員団は、ジャミソン・グリア米国通商代表に対し、アジア諸国との通商協議において米国産ブルーベリーの市場アクセスを優先事項とするよう要請した。

議員らは書簡の中で「米国は世界最大のブルーベリー生産国であり、アジア太平洋地域への輸出拡大は、質の高い農業雇用を創出することで、我々の選挙区及び州の生産者を支援するものである」と述べている。

書簡は、日本、ベトナム及び韓国における具体的なチャンスについて強調している。ラーセン議員は、「州内のブルーベリー生産者は、ワシントン州産の美味しく栄養価の高いブルーベリーを世界中の消費者に販売することで成長することを強く望んでいる。米国議会と政権は引き続き協力し、重要な国際市場で米国産ブルーベリーの競争を妨げている障壁を除去し、雇用を創出するよう取り組むべきである。ニューハウス議員と共にこの重要な産業を支援することは、ワシントン州全体にとって有益である」と述べている。

ニューハウス議員はこれを補足し、「米国で最良のブルーベリーはワシントン州で生産されている。政権が引き続き貿易協定の交渉を進める中で、我々のブルーベリー生産者のために関税と非関税障壁の両方に対処する必要がある。米国産品の市場アクセスの拡大は、引き続き議会における私の最優先事項であり、それには我々のブルーベリーが世界中で賞味されるようにすることも含まれる。ワシントン州の生産者のために今後も働きかけていくこととしており、ラーセン議員がこの取り組みに加わってくれたことに感謝する」と語った。

生産者からも支持の声が上がっている。ワシントン州バーリントンにあるサクマブラザーズ農場のブライアン・サクマ氏は、「ワシントン州で3代続く生産者として、私の家族のルーツがある日本を含め、世界中の消費者に高品質なブルーベリーを供給するという家族の伝統を継承できることを誇りに思う。米国産ブルーベリーは世界最高水準であり、日本、韓国、ベトナムなどの市場における長年の障壁が最終的に解消できることを期待している。それにより、生産者に新たなチャンスが生まれ、農業経済が強化され、農業貿易赤字の縮小にも寄与する」と述べた。

オアシス農場のチャド・ドン氏(北米ブルーベリー評議会(NABC)理事)は、「ワシントン州の1人のブルーベリー生産者として、我々の業界の輸出優先事項に関する政権の取り組みを強く支持する。冷凍ブルーベリーに対する日本の関税への対応、韓国への生鮮ブルーベリーのアクセスの確保、ベトナムの高関税率の引き下げは、ワシントン州産果実が世界の供給者との競争力を保つために不可欠なステップである」と語った。

NABCのケイシー・クロンキスト会長は、「ブルーベリー生産者は米国経済に強力かつ前向きな影響を与えており、年間91億米ドルの経済活動を生み出し、6万1千人以上の雇用を支えている。主要市場である日本、韓国及びベトナムにおける長年の貿易障壁に対処するよう政権に求める超党派の議会書簡を強く支持する」と述べた。

この超党派の書簡には、上下両院の20人以上の議員が署名しており、国際市場アクセス拡大に向けた業界の取り組みを後押ししている。